

校長室より

二松学舎大学附属高等学校  
校長 鶴飼敦之

## 「二松から飛翔へ」

## 1日4時間超え SNS利用時間 ～生活実態調査より～

生徒指導部が調査した生活実態調査の結果がまとまりました。

睡眠時間や食事の実態、学校生活への取組など皆さんの状況が分かる調査結果でした。

学習や部活動・行事などに参加する上で健康であることは言うまでもありません。自己管理を上手に行って様々なことに前向きに参加できるよう心掛けてください。

以下、調査結果より（一部抜粋）

【睡眠について】 平均睡眠時間は7時間未満と答えた生徒が各学年で80%を超えており、多くの生徒の睡眠時間が不足していると考えられる。授業時間に眠くなると答えた生徒が多く、睡眠不足が授業中の集中力の低下につながっている可能性がある。

【食事について】 各学年で70%を超える生徒が「毎日必ず食べる」と答えている。

【学校生活への満足度について】 授業への意欲、部活動等の課外活動に対する意欲はある。学校行事に関しては、各学年で30%前後の生徒が積極的に参加できていないと答えている。

【学習について】 平日の家庭学習において、家庭学習を「ほとんどしない」生徒の割合は、2年生は30%を超え、3年生で20%であった。

【スマホ・テレビについて】 1人1台スマホを持っている時代で、SNS利用時間が生活に占める割合が多い。各学年とも1～3時間と4時間以上と答えた割合は85%であった。

## 特待生認証式 (1年生20名)

1学年特待生認証式が5月27日(月)に行われました。

本制度は、「学校法人二松学舎奨学金運用規定及び二松学舎大学附属高等学校の特待生に関する取扱い内規」に基づき、入学試験における内申点、入試時の学力成績が良好であることを認定の要件としています。特待生には、奨学金として入学金相当を給付しました。

認証式において、私から、入学に向けて中学校の学習に一生懸命取り組み、成果を発揮したことに対し賞賛の言葉を送り、今後も学習・部活動・行事等にも積極的に取り組み、二松生の模範であることを期待しているとの訓示をしました。さらにこの評価は、ご家庭の協力もあって得られたものであり、保護者へ「ありがとう」の言葉を伝えるよう話しました。

式に参加した生徒諸君は、皆、緊張感を持ちながらも嬉しそうな姿が印象的でした。



## オープンキャンパスへ行こう



3年生の進路掲示板には大学・専門学校オープンキャンパスのチラシが掲示されています。

学校選びの手初めは学校を知ること。自分の夢や希望を実現するためにどのような環境が相応しいのか？実際に自分の目で確かめてみるのが重要です。ぜひ、大学等のキャンパスに足を運んで学校の様子を見てみましょう。

## 自己研鑽によるアップデート

先日、全国高等学校長(全校長)協会主催の総会(5/22)と私学協会総会(5/23)にそれぞれ出席しました。全高長総会はコロナ禍が落ち着いた昨年からの復活し、2日間の日程で埼玉県さいたま市で開催されました。大会では、各地区の校長先生から研究報告があり、新教育課程の目玉でもある「探究」の取組について報告がされました。また、文部科学省からの行政説明では、近年教育課題である「教員の働き方改革」の為に様々な施策が展開されているとの報告がありました。本校でも先生方の働き方改革に向けて諸施策の具体化を考えていくべきと感じました。

久しぶりに外部の状況を知る機会となり、自身をアップデートしていく必要があることを痛感した会議でした。アンテナを高くして、様々な情報を得、取捨選択し、二松学舎に生かしていきたいと思えます。

